

「福寿稲荷ごりやく市」6年目に突入！

－商店街の活性化に尽力する蒲郡商店街振興組合の理事長とごりやく市実行委員長－



写真左より武田さん、榊原さん

始めたきっかけは、狭い歩道を時代に合わせて広げる優しい町づくり整備が完了した時に、地域のボランティア団体さんと一緒に祝ったボランティアフェスティバル開催をしたことにあった。中心市街地が大型店の郊外進出により活気がなくなることへの対策として、継続的なイベントを！「福寿稲荷ごりやく市」の誕生につながった。名前の由来は、中央通り商店街の近くにある薬證寺のお稲荷さんの名前にあやかってつけた。

ごりやく市の自慢は『出店者が全て・・・プロ！』であるということ。な・な・なんと？！安城・浜松、遠くは大阪からも出店する業者もある。中には、開店と同時に売り切れるという店も。商店街からも「おかみさん」達による縁の下力持ち？いいや！前面でがんばっている『なごみ会』のテントはいつも大盛況！！

なごみ会の収益は、歩道のポールに干渉防止のロープを取り付けたり、光触媒の造花を飾るなど主婦ならではの目線で、街の美化・活性化につなげ、商店街のために活用されている。

しかし、商店街のメンバーだけでは、アイディアやスタッフも不足して手を広げる事も難しかった時期があった。そこでこれまでの蒲郡まつりで培った人脈もフル活用し、幼稚園児から学生、NPOの人たちの手を借りつつ、手探りで充実したイベントにしてきたそうだ。

ちなみに9月の目玉は、去年から始めた『流しそうめん！！』全長20mにもなるそうだ。10月は、ジュニア吹奏楽団の演奏、木船幼稚園によるリズムダンスなどが行われる。

こうした取組は、県の「ブランド商店街認定」「活性化モデル商店街」にも選ばれる折り紙付だ！パワーの源は？『好きだから！』と言われる二人。「商店街活性化の為には労力を惜しまない！」魅力ある商店街にするには、まず自分たち（店主）で後継ぎが継げる店作りをしていき、『この店を継がさせてくれ！』と言わさせるくらいにならないと。と声を小さく言っていた。

追伸：ごりやく市の福投げ（菓子まき）で、ご祈禱した宝くじを毎回入れている。その後、福寿稲荷に〇〇万円のお賽銭があったとか・・・。お稲荷様もお祭り当日は本部前に出張してくるそうだ。是非ごりやくにあやかって下さい。

《市民まちづくりセンターより》



蒲郡高校生によるシャッターペイント作品

出展者募集中！ 実行委員長 榊原さんまで 連絡先:0533-68-4272
<http://www.gamagoricci.or.jp/goriyakuichi.htm>

褒められる事などめったに無い「なぜ？」家族にまで言われる事しばし。銀座まつりや七夕まつりが町の中から消える中で、歯を食いしばり続けた事で家族や地域の人々が支え始めた不思議な商店街。

あなたも見ろあほうから踊るあほうになっては？！

活性化モデル商店街：県が、平成19年度新規事業として、中心市街地や地域コミュニティの核となり、安心・安全で暮らしやすいまちを支える新時代商店街として、成功例となる可能性のある商店街を指定。（県内で7商店街）

ブランド商店街：県は、平成18年度新規事業として地域の食・人・物・文化・歴史等を活かすなどして、特徴ある取り組みをしている商店街を「ブランド商店街」として認定。

薬證寺：【やくしょうじ】と読む。上田眼科裏手にあるお寺

